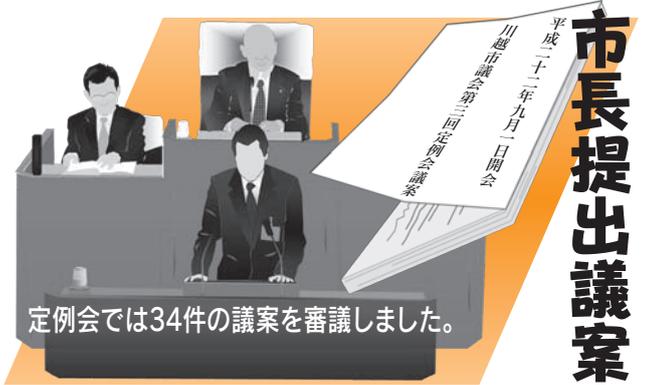


市長提出議案 議決結果

平成22年 第3回 定例会 議案名	議決結果
平成21年度川越市一般会計歳入歳出決算認定 など11件 決算の審査について	認 定
川越市手数料条例の一部を改正する条例 主な内容①	原案可決
非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
川越市なぐわし公園温水利用型健康運動施設等整備 運営事業契約 主な内容②	原案可決
なぐわし公園の指定管理者の指定 主な内容③	原案可決
訴えの提起 2件 (市営住宅の明渡し等)	原案可決
川越市道路線の認定 など6件 (認定4件、廃止2件)	原案可決
平成22年度川越市一般会計補正予算(第2号) など5件 主な内容④	原案可決
<追加議案>	
公平委員会委員の選任につき同意を求める <小倉 隆明氏>	同 意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 2件 <朝日 恵一氏> <有山 和弘氏>	同 意



定例会では34件の議案を審議しました。

決算の審査について

決算の審査については、前年(平成20年度の決算審査)まで、決算特別委員会を設け、主に閉会中に審査してきましたが、今年(平成21年度の決算審査)から、9月定例会会期中に開催される4つの常任委員会(総務・文教・厚生・建設)に分割付託して審査しました。
これにより、全議員が決算の審査に参加ができる他、次年度予算(平成23年度)に議会の意見や要望を速やかに反映することができる等の効果が見込まれます。
決算審査の傍聴は、通常の委員会審査の傍聴と同様に、委員会の許可を得た上で可能となります。

主な内容① 1件につき150円である事務に係る手数料及び住民基本台帳補助簿閲覧の手数料の額を引き上げます。

手数料を徴収する事務	改定後金額
身分に関する証明 印鑑登録に関する証明 住民票又は戸籍の附票の写しの交付 住民票記載事項に関する証明 住民基本台帳の閲覧 住民基本台帳補助簿の閲覧※ 外国人登録原票記載事項に関する証明 埋火葬に関する証明	1件につき 200円 (※印については、1件につき300円を400円に改定)
営業又は職業に関する証明 納税、課税又は所得に関する証明 固定資産課税台帳又は土地・家屋 名寄帳兼課税台帳の閲覧 固定資産課税台帳記載事項の証明 不動産に関する証明 市長の指定する公簿又は図面の閲覧 市長の指定する図面の写しの交付	
公有地(道路敷・水路敷)と民有地との境界査定の確認証明 市道路の幅員に関する証明 その他の諸証明	

主な内容④ 子宮頸がん予防ワクチン接種費用を助成します。

<平成22年度の実施予定>

実施期間

平成22年11月1日から平成23年3月31日まで

接種対象者

川越市に住民登録、外国人登録している中学生～高校生相当年齢の女子

助成回数・助成額

3回まで。通常は初回接種から3回目接種まで約半年を要するため、接種開始時期の関係上、今年度の助成は2回まで。1回の接種につき、10,000円。

主な内容② 公共施設等の整備等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する特定事業契約を締結します。

なぐわし公園温水利用型健康運動施設 完成予想図(イメージ)



契約の相手方 なぐわし公園PFI株式会社 代表取締役 石橋正孝
事業場所 川越市大字鯨井1216番地ほか
事業内容 設計・建設業務、維持管理業務、運営業務
契約期間 本契約締結の日から平成39年3月31日まで

主な内容③

なぐわし公園の指定管理者を指定します。

指定管理者

なぐわし公園PFI株式会社 代表取締役 石橋正孝

指定期間

平成24年8月1日から平成39年3月31日まで

市政に関する 一般質問

今定例会では、27名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載（氏名下の数字は発言順番）しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題（問）を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録でご覧いただけます。

【会議録の閲覧について】

平成二十二年八月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では、十一月下旬頃から、議会ホームページ上では、平成二十三年一月下旬頃から閲覧できます。

○会議録をご覧ください
の所

- ・ 市役所六階 議会事務局
- ・ 市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・ 市立図書館（四館）
- ・ 出張所（十箇所）

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P.川越 21 石川 智明
花火大会実施方法について 1

問今年度の花火大会は中止となり、今後は隔年となるようだが、残念に思うとの声が多く聞かれる。財政状況は厳しいが、毎年開催に戻せないか。

答市長※ 花火大会の開催に昨年度は約二千百九十一万円の費用を要した。今年度は市税収入の大幅な落ち込みもあり、やむを得ず中止したが、花火大会については市民から

の要望も多数頂いているので、来年は隔年という意味での予定通り、開催に向けて準備を進めていきたい。なお、昨年、予算編成過程で隔年開催を決めたが、財政状況が現在より極端に悪くなるといふ事態が無ければ、来以降は再び毎年開催していきたい。

問花火大会と市政運営
問公開事業点検



自民ク 吉敷 賢
多目的グラウンドの今後は 2

問市民要望の多い多目的グラウンドについての市の認識を含め、今後、市はこの要望に対してどのように取り組んでいくのか。

答市長 市民からの多目的グラウンド整備に係る要望を認識している。近年、多種多様な新しいスポーツが生まれ、市民が様々な場面で自分に合ったスポーツに親しむことで、健康増進や体力の向上が

図られ、健康で長生きできれば大変喜ばしいと考える。多目的グラウンドは、今後、入間川の堤防改修で芳野地区に生まれる広大な河川敷を活用し、面積約三十haのスポーツ・レクリエーションエリアの中に整備する予定である。市民やスポーツ団体等と調整を図りながら計画を進めていきたい。

問スポーツ施設の整備



自民ク 加藤 昇
主要交差点に名前を！ 3

問交差点に名称が付いていない所がある。道路利用者へのサービスと、親しまれる地域づくりの為、主要交差点に名称を付けて頂きたい。

答市長※ 地点名標識の無い交差点に新たにこれを設置することについては、添架可能な信号柱かどうかの調査後、予算措置と交差点の名称決定を行った上で、信号機を管

理する警察と協議を行うという要件を満たせば可能である。市内の主要交差点に地点名標識が設置された場合、自動車交通や観光客への利便性の向上などメリットがあると考えているが、維持管理上の問題等もあるので、総合的に検討していきたい。

問交差点の名称
問公開事業点検の状況



自民ク 神田 寿雄
県農業大学の移転と対応 4

問県農業大学校が熊谷市へ移転するに伴っての、跡地の活用と周辺環境の変化による、本市への影響と対応について伺う。

答政策財政部長 設置者である県では、今後所在地である鶴ヶ島市と連携しながら、産業集積と貴重な緑地の保全の両立を目指した移転後の跡地の有効活用を進めることを考えている。現在、検討

に当たって、整備に伴う環境面の調査や予測などを記載した戦略的環境影響評価計画書の縦覧を実施し、県で意見を受け付けている。同校は、本市に隣接していることから、活用にあたっては、本市にもメリットがあるよう検討し、他市とも連携しながら要望したい。

問県農業大学の移転
問西清掃センター



自民ク 関口 勇
駅前広場改修と改善等は!! 5

問市民要望を得て、川越駅西口駅前広場の改修やデッキの設置など改善策の進捗状況はどうなっているのか？

答都市計画部長 今年度、駅前広場の改修に向けた概略設計を発注した。この業務において歩行者の安全性の確保と利便性の向上を図るため、駅に直結した歩行者用デッキの設計や広場内のバスパー

スやタクシールール等の効率的な配置換えを検討し、人にやさしい安全な公共空間を実現したいと考えている。また、西部地域ふれあい拠点施設へのアクセスとして、歩行者用デッキを整備することは、新たな川越市の玄関口の顔として周辺地域の活性化等の創出にも寄与するものと考えている。

問駅西口広場の整備計画